

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 脳からの言語情報解読技術の開発

2. 個人研究者名

堀川 友慈（日本電信電話（株） コミュニケーション科学基礎研究所 研究主任）

3. 事後評価結果

身体のリ約を受けない、脳を介したコミュニケーションを実現する基盤の構築を目指して、脳活動から詳細な言語情報を解読する技術の開発を行った。具体的には、解読情報の詳細化、解読モダリティの多様化、脳における言語情報の神経基盤の解明を目的とした。

脳情報の言語化という挑戦的な課題に取り組み、脳の言語活動を定量的に評価する方法について萌芽的な成果が得られた。これは将来的に、個人間の知覚や認識の深さ（目のつけ所）を比較可能とする技術の基盤となる可能性があり、非常に興味深い成果である。

基礎研究として優れた成果を創出したと言えるため、今後は社会実装に向けて企業との連携や共同研究を進めてほしい。また、本研究成果を必要とするユーザーを選定し、実際に交流することでさらなる研究発展への示唆が得られることを期待する。